

## 平成30年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/> 評価対象 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了事業 <input type="checkbox"/> ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>					担当者 荒井 一樹 経費区分 ー 内線 3628
事務事業名	4322 体育施設管理事業					
所 属	130500 社会共創部・生涯学習スポーツ課					
施 策	04022000 スポーツ活動の充実					
予算 科目	会計	01 一般会計				
	科目	100702 教育費・保健体育費・体育施設費				
	事業	010000 体育施設管理事業				
事業目的			事業概要・効果			
市民の体育・スポーツのニーズに対応した体育施設の貸し出し及び施設整備を行い、スポーツの振興と健康・体力づくりの向上を図る。			体育施設の予約受付、調整等を実施し、市民、市外からの合宿・大会等に貸し出し及び施設の適切な管理、整備を行い、スポーツの振興と健康・体力づくりを進める。			

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
北部体育館電気設備更新など修繕料 10,993千円 体育施設管理業務委託 22,050千円など	市民体育館バスケットゴール修繕、床金物修繕など修繕料 21,650千円 体育施設管理業務委託 23,000千円など
平成29年度 実績	平成30年度 予定
柔剣道場トイレ修繕など修繕料 11,288千円 体育施設管理業務委託 25,000千円など	県民須坂運動広場バックネット修繕など修繕料 11,288千円 体育施設管理業務委託 25,700千円など
平成31年度 予定	平成32年度 予定
弓道場トイレ洋式化等修繕料 11,288 体育施設管理事務委託23,500	体育施設修繕料11,288 体育施設管理事務委託23,500

指標名	体育施設年間延利用者数				
算式	体育施設利用者 + 学校体育施設使用者				単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	380,000	390,000	400,000	410,000
	実績	345,265	340,179		420,000
指標選定の理由	スポーツ活動の指標として選定				
最終年度目標の根拠	人口が減少していく中で、スポーツ人口の増加をめざす H26年度実績値 約15%増				
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		55,415	66,589
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	11,177	10,572
一般財源		44,238	56,017
人員数(人)	正規職員	0.9	1.0
	嘱託職員	2.0	2.1
	臨時職員	1.0	1.1
人員コスト	正規職員	6,434.1	7,149.0
	嘱託職員	5,532.0	5,808.6
	臨時職員	1,179.0	1,296.9
	計	13,145.1	14,254.5
市民一人当たりの経費		1.3	1.5
総額		68,560.1	80,843.5

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	16,948	体育施設電気料 7,559、上下水道料 1,573、修繕料5,806 など
13節 委託費	25,940	除雪委託料19、電気保安業務委託料 344、施設整備委託料 1,880、シルバ一人材センター施設管理業務委託料 23,368 など
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	12,527	嘱託職員報酬等4,708、臨時職員賃金等1,795、し尿処理手数料1,500、土地借上料2,402、備品495 ほか

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	22,974	体育施設電気料 7,785、上下水道料 1,830、修繕料 11,288など
13節 委託費	29,173	除雪委託料 300、電気保安業務委託料 344、施設整備委託料 2,500、シルバー人材センター施設管理業務委託料 25,000 など
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	14,442	嘱託職員報酬等5,181、臨時職員賃金等1,759、手数料1,700、借上料2,403

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	普通
評価コメント	使用者の安心安全のため、施設管理が必要。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	使用者からの要望等により、軽微な変更や修繕を実施し利便性を高めている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	直営でできるような修繕等は職員が行うなど、経費削減に努めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

施設の老朽化が進んでいるため、修繕を行う箇所等が多く、1次対応を含め即応性が要求される。  
 使用者のニーズへの対応の他、台風等災害警戒への対応は的確に行えた。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
施設の老朽化が進んでいるが、長く使用できるようメンテナンスを継続して行う	

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
利用者が安全に利用できるよう、限られた費用の中で計画的、効果的な施設管理を行う。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	